

今夏の電力負荷平準化対策及び節電対策

中部経済産業局 環境・リサイクル課 & EPOC 低炭素社会分科会

<平成 23 年 7 月 31 現在>

1. 電力負荷平準化対策

電力需要格差を縮小するための対策（主に電力需要ピーク時間帯（平日 13～16 時）電力使用量抑制対策）

2. 節電対策

上記 1. 以外の節電対策

3. その他対策

	1	2	3	上記凡例 1.2.3 をご参照下さい。
(1)勤務時間、勤務日 関係	○			休日を土日から平日にシフト
	○			フレックスタイム勤務者のコアタイム（必ず出勤していなければならない時間帯）の前倒し
		○		定時退社日の増加、その運用の徹底、残業規制
		○		休日出勤の自粛
	○			会議や来客対応を午前中にシフトし午後 1 時～4 時の会議室、応接室の使用を自制
	○			昼休み時間変更（13：00→14：00 7 月 1 日から 9 月 30 日）
		○		『統一ノー残業（時間外）デー』の実施（建物単位の一斉消灯）
		○		機械により 2 直体制にて夜間電気の使用
		○		ノー残業デーは事務室照明、空調の 18 時消灯を徹底
(2)意識付け活動・サービス 関係		○		職員の節電意識の醸成のための教育活動
		○		従業員家族への節電活動
		○		クールビズの期間拡大
		○		クールビズとしてポロシャツの着用許可
		○		営業職におけるクールビズ導入
		○		グリーンカーテン、壁面緑化
		○		長期の夏季休暇を設定
		○		緊急省エネアクションを通牒にて指示(電力削減)
		○		ポスターを各職場に掲示
		○		「消灯・エアコン温度設定 PR カード」をスイッチの脇やリモコンに添付
		○		事務室、会議室、ロッカーに「こまめに消灯」を張付 26 箇所
		○		企画部・工場でのデマンド管理
(3)PC、OA 機器関係	○			モバイルパソコンのバッテリー稼働実施時間に館内放送し徹底
		○		離席時におけるディスプレイの電源OFF（ノートパソコンの蓋閉じ含む、電源OFFの徹底
		○		PCの節電設定の徹底（スクリーンセーバーの待ち時間、モニターのスリープ開始時間、ハードディスクやシステムのスタンバイ時間等）
		○		プリンター、コピー機の稼働台数の減少
		○		プリントアウト枚数を最小数化
		○		使用していない機器（パソコン、プリンタ、コピー機等）の電源オフ
		○		PCへの節電ソフトの導入
	○			ピーク機能付パソコンで対応、400 台 期間 10 月末
	○			14：30 頃からモバイルパソコンのバッテリー稼働に切り替え
	○			ピーク時間帯は PHS の充電器コンセントを抜く
(4)照明設備関係		○		退社時にコンセントを抜く
		○		照明の間引き、一部撤去、消灯
		○		自社の看板や建物へのライトアップ照明を終日消灯
		○		昼休み等休憩時間における消灯

		○	ヒモスイッチによるこまめな消灯
		○	消灯時間に見回り実施
		○	照明のLED化、省エネタイプ化
		○	照度基準を見直し低出力の電球への変更
		○	人感センサーによるこまめな消灯
		○	照明は基準幅の最低照度
		○	LEDにかわる次世代ランプ（無電極式電球）の導入
		○	共用部分は最小限の点灯
	○		会議室、廊下など使用していないエリアのこまめな消灯
		○	不要な水銀灯の消灯と間引き、昼食時の工場の水銀灯消灯
		○	ショールーム屋外看板の夜間照明を中止
		○	反射板の利用、間引きとキャノピースイッチによる必要場所のみの点灯を進め以前の電力の80%削減を実現
(5)空調設備関係		○	エアコンの温度管理の徹底
		○	エアコンのフィルター掃除の頻度アップ
		○	エアコンの一部停止（ロッカーや共用スペース等）
		○	温水チラーを停止
		○	扇風機の配置
		○	空調設備を随時更新
		○	散水（室外機、屋根等）
		○	ブラインドの有効活用
		○	遮熱効果のあるフィルムの窓への貼付
		○	網戸の設置
		○	不要箇所の空調の停止
	○		エアコン設定温度 28 度
	○		エアコンと扇風機の組合せ使用
		○	事務所、食堂の省エネ型のエアコンへの取替
		○	窓外にすだれのカーテンを作る
(6)その他設備関係		○	シャワートイレの水温設定見直し
		○	トイレ温水便座の停止
		○	冷蔵庫や電気ポット等の使用制限
		○	社内の給茶機や自動販売機の設定温度変更
		○	エレベータやエスカレータの一部運用停止
		○	節電モードのあるコピー機や FAX の節電設定の徹底
		○	省エネ型自販機への機種変更
		○	喫煙所・休憩所の間引き（エアークリーナー、換気設備の停止）
	○		緊急節電の全社リハーサル
		○	テレビの主電源のオフ
		○	南側窓へのグリーンカーテン、遮熱フィルム、ブラインドの活用
		○	コンプレッサー省エネタイプの選定
		○	排水処理、曝気ブローアの間欠運転
		○	製糊装置更新による製造時間短縮
(7)生産設備関係		○	コンプレッサーの低圧化やエア漏れ対策の実施
	○		排水設備の稼働時間変更
		○	不必要なエアバルブの閉止等エア漏れ点検
	○		常時稼働しない設備や設備余力のある設備の稼働は重負荷期を回避
	○		複数ある設備を切り替えるタイミングや定期的な試運転を夜間や早朝、休日にシフト（複数台稼働する時間帯が発生する為）
		○	節電調整時に落とす電源の手順の確認
		○	稼働率向上活動（不良率低減、歩留まり向上等）

		○		休日、昼休み等の設備電源OFF活動
	○			工場における平日/休日の処理量平準化によるピーク抑制
	○			電気炉の稼働はピーク時を回避
(8)自家発電関係	○			コジェネの運用見直し（休止設備の再稼働、出力アップ等）
	○			蓄電設備の導入
	○			リースの発電機を導入